

# かしわの☆レポート

発行責任者：柏野大介 恵庭市住吉町2-2-14  
 電話：090-2695-2880 FAX：0123-39-5333

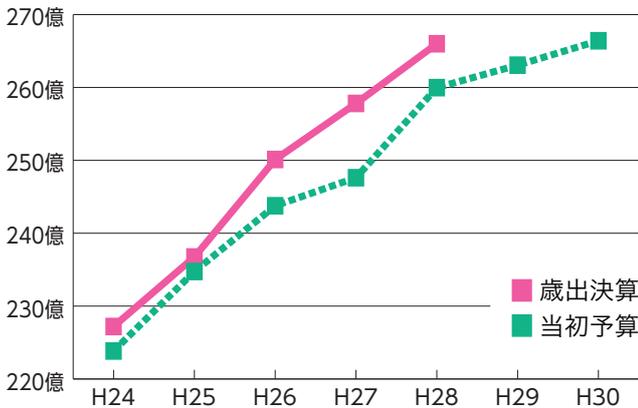
webサイト：<http://kashiwano.info/>  
 Email：dkashiwano@gmail.com



## ◆平成30年度予算、過去最大を更新

平成30年度一般会計予算は、過去最大だった昨年度を3億円上回る266億円で可決・成立しました。5%のマイナスシーリング（予算上限枠）を設け、予算の抑制に努めたとされています。しかし、戸磯の新工業団地造成の関連事業、花の拠点整備事業（道の駅周辺）、市民スキー場整備などに加え、市営住宅柏陽・恵央団地の建替、西島松の新たな住宅地の検討、通年型屋外体育施設の検討など、今後も積極的にハード事業を進める姿勢が顕著です。財政規律とのバランスには注視していく必要があります。

一般会計歳出額の推移



## ◆大学生のインターンシップ報告

春休みの2か月間、大学生のインターンシップを受け入れました。大学生から見た地方議会と感想を交えた報告です。

○小橋さん（北海学園大学1年）

活動で印象に残っていることは、生活・学習支援の事業者の方や利用者の方との交流です。そこで気づいたことは、実際に目で見て肌で感じることの大切さです。マスコミ報道では物事の断片しかわからないのですが、活動を通してより多くのことに触れることができました。



また、議員は本会議の一般質問のイメージが

強いですが、日頃から地域に寄り添って、課題を発見し、解決すべく会議で議論をしているのだとこの2ヶ月で知ることができました。

○吉崎さん（北海道大学2年）

インターン中、議員の活動を見ていて、議員が有権者の要望をもとに質問をしたり、調査をしたりすることが多かったように思います。このことから学んだのは、政治家が市民の声を聞くのと同じくらい、私たちの側から政治に働きかけることが重要だということです。投票やデモ等、方法は様々ありますが、この街や国で暮らす私たちひとりひとりが政治に注目して、議員や政治家の行動に応えることで、政治はより私たちに寄り添ったものになると考えます。



政治は、決して政治家が一方的に行うものではないということに、改めて気づかされました。

### <議会活動報告会のご案内>

#### ① 市民希望の会 議会報告会

市民希望の会メンバー4名による報告会です。第1回定例会を中心とした会派の活動報告と意見交換を行います。

日時：2018年5月15日（火）

18:30～20:00

会場：市民活動センター 会議室8-1  
 （緑と語らいの広場複合施設 えにあす2階）

住所：恵庭市緑町2-1-1

#### ② かしわのとえにわを語る会

定例議会ごと（年4回）に開催する少人数の報告・対話の場です。

どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。みなさんが普段感じている恵庭市のこと、ぜひお話を聞かせてください。

日時：2018年4月24日（火）

10:30～12:00

会場：市民活動センター 会議室6  
 （緑と語らいの広場複合施設 えにあす2階）

住所：恵庭市緑町2-1-1

## ◆民泊の潜在力は大きい

今回の一般質問では、大きくわけて4点、①民泊推進による地域経済の活性化、②官製ワーキングプアの是正、③障がい福祉プランの見直し、④切れ目のない子ども支援、をテーマに質問しました。

民泊新法が6月15日から施行されることに合わせ、北海道では民泊に関する条例を制定しました。

北海道条例では、小中学校の敷地の出入口から100mの範囲は学校の登校日を、住居専用地域については、平日を制限期間とし、家主居住型の民泊については制限対象外としています。住居専用地域などについては、良好な生活環境を阻害することのないよう制限をしつつ、それ以外では、民泊事業を推進することで、市内消費の拡大や関連産業への波及効果も期待できます。

## ◆官製ワーキングプアの是正を

厚労省の調査によると、名目賃金（見た目の金額）は、平成24年から上がっているものの、実質賃金（物価上昇分を差し引いた金額）では決して賃金は上昇していません。市役所は雇用主や発注者としての立場からも、雇用環境の改善のためにできることから取り組まなければなりません。

来年度、直接雇用については、19職種で賃金改定を行い、臨時事務職員については、時給単価で839円に改定されます。しかし、引き上げとなる人の割合は、臨時・非常勤職員の30%未満であり、まだまだ十分ではありません。

また、指定管理者や委託事業における人件費の算定根拠の明示と改善、これに合わせた実態調査を行うことで、自治体が発注した仕事に従事する人たちの賃金においても、改定の仕組みを制度化することが必要です。

## ◆多様なニーズに応える質の高い福祉を

市はこの度、えにわ障がい福祉プランを見直しました。これまでのプランでは、各種サービスの量を確保するための方策が中心でした。私からは、これまでの実績に基づく推計にとどまらず「地域活動支援センター」を増やすことで、多様なニーズに応えることができるのではないかとということと、障害児通所支援（児童発達支援、

放課後等デイサービス）の質の向上に向けた取り組みを進めていくべきということについて質問をしました。計画を作って終わりではなく、今後の事業もしっかりと検証していきます。

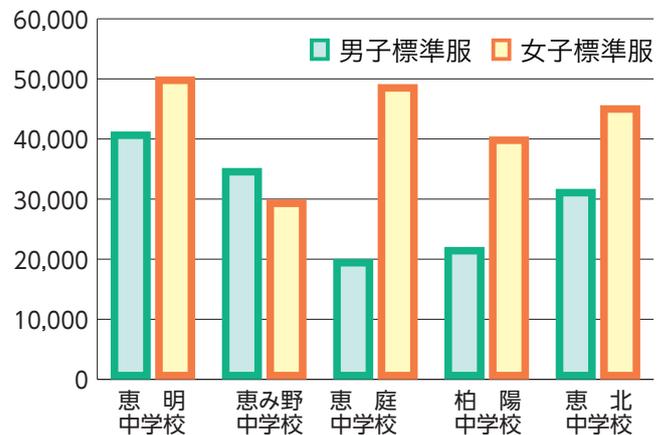
## ◆義務教育の経費に大きな格差

勤労者世帯の家計所得が増えない中で、教育費負担は重みを増しています。無償を目指すべき義務教育の課程でも、制服や教材費などの負担は大きく、昨年、公正取引委員会が行なった調査の全国平均と比較しても、恵庭市内各中学校の制服の最低価格は、1万～2万円高い水準です。

就学援助費の改定などが行われていることは、評価できますが、切れ目のない子ども支援を総合戦略に掲げる恵庭市としては、すべての世帯に向けて、踏み込んだ負担軽減策が必要です。

この件に関しては、道教委からも市教委に対して情報提供が行われるようです。教育内容に関しては、それぞれの学校の判断が尊重されるのは当然だとしても、保護者の費用負担については、今後の改善策に期待したいと思います。

市内中学校における制服の価格比較



(価格は販売店の最低価格を参考とした。小橋、吉崎の調査をもとに作成)

.....  
かしわの 大介 facebook ページ・ブログでは、各記事のさらに詳しい説明や委員会での配布資料なども掲載しています。ぜひご覧いただき、コメントをお願いします☆



.....